

平成 29 年度鹿児島県看護協会 鹿児島地区第 7 回研修会

テーマ：「ワークで学ぼう！みんなの SBAR」

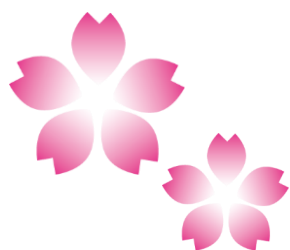
～報告・連絡のためのコミュニケーションツール～

日 時： 平成 30 年 2 月 24 日（土） 14：00～15：30

会 場： 鹿児島県看護協会 3 階研修室

講 師： 東京海上日動メディカルサービス株式会社

メディカルリスクマネジメント室 玉利英子先生



<参加動機>

- 1) テーマにひかれたから 51 名
- 2) 人に勧められたから 33 名
- 3) その他 11 名

<研修内容>

- 1) とてもよかった 59 名
- 2) よかった 29 名
- 3) ふつう 1 名
- 4) あまりよくなかった 1 名

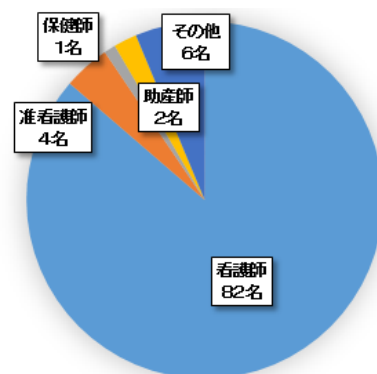
参加者： 104 名

(会員：91 名、非会員：13 名)

※アンケート回収数：95 名

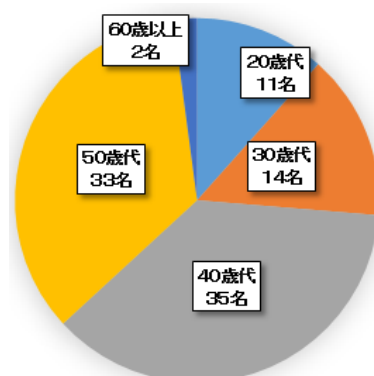
<職種>

- 看護師 82 名
- 准看護師 4 名
- 保健師 1 名
- 助産師 2 名
- その他 6 名



<年齢>

- 20 歳代 11 名
- 30 歳代 14 名
- 40 歳代 35 名
- 50 歳代 33 名
- 60 歳以上 2 名



<研修の感想やご意見>

- 報告の仕方を考え直す良い機会になった。
- 報告する側の判断、アセスメントで報告内容が変わる事がわかった。
- とてもわかりやすかった。明日から実践しようと思う。
- SBARで報告する事を意識してきたが、改めて学ぶ事が出来たので部署のメンバーに伝え、ツールとして活用していきたい。
- 介護職や事務職にも研修を行いたいと思った。
- ワークする事で、聞き手の感覚がわかった。最初に趣旨を伝えることにより、報告がスムーズに進む事を実感する事が出来た。

<研修の時間、場所についてのご意見>

- ・内容が充実しており、研修時間も良かった。
- ・スライドが少しぼやけて見え難かった。

<次回企画してほしい研修について>

- ・インシデントの分析について
- ・インシデント対策(他医療機関の取り組み)について

<研修を終えて>

状況を適切に伝えて確実に相手の行動を引き出すコミュニケーションスキルであるSBARについて、S(状況) B(背景) A(判断) R(提案) 各項目ひとつひとつを学んだうえで、事例をもとに実際の報告場面のセリフをグループで検討しました。最初に伝える事はなにか、状況や背景を簡潔に伝えるためにはどのような言葉で伝えたらよいか、ワークを通して様々な事を学ぶ事が出来ました。伝える側と伝えられる側双方の立場を体感する機会にもなりました。

SBARは職種が異なる者同士のコミュニケーションでは特に有効なツールだと思います。今回の学びを各部署で浸透させ、コミュニケーションツールとしてどんどん活用していきましょう。お互いの関係性もより良い方向に向かうのではないのでしょうか。ぜひ実践しましょう。

文責 恒吉里美

～ナースシップ 仲間をふやそう!!～

鹿児島地区の看護協会員数は、6000人に達しました!!

入会希望の方は
こちらから!!



入会してポイントを貯めよう! 当日入会も出来ますよ~(*^_^*)/